

科目名	編曲 I		担当講師	谷津祐子	
講師実務経験	大学非常勤講師				
対象学年	1 学年	対象コース	ヴォーカルコース、ギターコース、ベースコース、ドラムコース、作曲・DTMコース		授業形態 講義・実習
期間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間 135 分	
修得目標	メロディとその他の要素との関連について理解し、編曲に活用できる力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	授業ガイダンス			
2	4月24日	メロディとその他の音楽を構成する要素について			
3	5月8日	スケールとキー1			
4	5月15日	スケールとキー2			
5	5月22日	音程			
6	5月29日	コード1			
7	6月5日	コード2			
8	6月12日	ダイアトニックコード1			
9	6月19日	ダイアトニックコード2			
10	7月3日	メロディとスケール、コードの関連1			
11	7月10日	メロディとスケール、コードの関連2			
12	8月21日	メロディに対するコード編曲1			
13	8月28日	メロディに対するコード編曲2			
14					
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各自五線紙を用意すること／授業内で随時プリント配布				
注意事項	39 時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	DTM I		担当講師	水口陽子	
講師実務経験	ピアノ講師				
対象学年	1 学年	対象コース	ヴォーカルコース、ギターコース、ベースコース、ドラムコース		授業形態 実習
期間	前期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	135 分
修得目標	MIDI入力の様々な方法を学び、奏法、フレージングに応じた打ち込み、エディットを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	授業概要及び機材システムと使用ソフトの理解 新規プロジェクトの作成			
2	4月24日	ステップ入力、リアルタイム入力を習得1 クオンタイス			
3	5月8日	ステップ入力、リアルタイム入力を習得2 コピー&ペースト			
4	5月15日	ステップ入力、リアルタイム入力を習得3 ベロシティ			
5	5月22日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 スtringス			
6	5月29日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ブラS			
7	6月5日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ドラム、パーカッション			
8	6月12日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ベース			
9	6月19日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ギター1			
10	7月3日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ギター2			
11	7月10日	前期課題制作1			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中 33時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作曲 I		担当講師	谷津祐子	
講師実務経験	大学非常勤講師				
対象学年	1 学年	対象コース	ヴォーカルコース、ギターコース、ベースコース、ドラムコース、作曲・DTMコース		授業形態 講義・実習
期 間	前期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	曲の構成を分析し、歌詞やコードとの関連を意識してメロディを作曲できる力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日	授業ガイダンス／既成の楽曲の分析1			
2	4月25日	分析をもとにした模倣			
3	5月9日	既成の楽曲の分析2			
4	5月16日	分析をもとにした模倣			
5	5月23日	既成の楽曲の分析3			
6	5月30日	分析をもとにした模倣			
7	6月6日	既成の楽曲の分析4			
8	6月13日	分析をもとにした模倣			
9	6月20日	コードからの作曲1			
10	7月4日	コードからの作曲2			
11	7月11日	コードからの作曲3			
12	7月18日	課題作成1			
13	8月22日	課題作成2			
14	8月29日	課題作成3			
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各自五線紙を用意すること／授業内で随時プリント配布				
注意事項	42時間中 15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ギター専攻実習			担当講師	川畑統正
講師実務経験	ギタリスト / ヤマハ認定講師				
対象学年	1 学年	対象コース	ギターコース		授業形態
期 間	前期	総授業回数	19 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	ギター演奏の基本技術と知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズのレクチャー			
2	4月25日	フォームチェック、ピッキングやフィンガリング			
3	5月9日	カッティングエクササイズ、ミュート、ストローク、リズムなど			
4	5月16日	スケールエクササイズ、メジャースケール、インポジション			
5	5月23日	コードについて、オープンコード～バレーコードの仕組みと基本			
6	5月30日	コードについて、リズムコードのレクチャー			
7	6月6日	ブルースフォームによるリズムやコード			
8	6月13日	ブルースフォームによるテーマ、メロディ			
9	6月20日	メジャースケールエクササイズ、ブローケンポジション			
10	7月4日	マイナースケールについて種類と特徴			
11	7月7日	オルタードスケールについて種類と特徴			
12	7月11日	マイナースケールについて応用			
13	7月14日	オルタードスケールについて応用			
14	7月18日	ブルースの発展 ジャズ ブルース			
15	7月21日	ブルースの発展 ロック ファンク			
16	8月22日	ファンクリズムの導入と応用			
17	8月25日	ファンクリズムの導入と応用 その2 / インプロビゼーションの基本について			
18	8月29日	ファンクリズムの導入と応用 その3 / インプロビゼーションの基本について			
19	9月1日	ファンクリズムの導入と応用 その4 / インプロビゼーションの基本について			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	57時間中 20時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	アンサンブル		担当講師	川畑統正/岸林大輔/木村圭子/永盛岳生	
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	1 学年	対象コース	ヴォーカルコース、ギターコース、ベースコース、ドラムコース		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	26 回	1回あたりの授業時間	135(90) 分
修 得 目 標	授業を通じてアンサンブルとは何かを理解し修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月19日	授業ガイダンス			
2	4月21日	バンドアンサンブルの基本① / オリジナル曲作成の基本①			
3	5月10日	バンドアンサンブルの基本② / オリジナル曲作成の基本②			
4	5月12日	バンドアンサンブルの基本③ / オリジナル曲作成の基本③			
5	5月17日	バンドアンサンブルの基本④ / オリジナル曲作成の基本④			
6	5月19日	バンドアンサンブルの基本⑤ / オリジナル曲作成の基本⑤			
7	5月24日	バンドアンサンブルの基本⑥ / オリジナル曲作成の基本⑥			
8	5月26日	バンドアンサンブルの基本⑦ / オリジナル曲作成の基本⑦			
9	5月31日	バンドアンサンブルの基本⑧ / オリジナル曲作成の基本⑧			
10	6月2日	オリジナル曲作成①と伴奏編成			
11	6月7日	オリジナル曲作成②と伴奏編成			
12	6月9日	オリジナル曲作成③と伴奏編成			
13	6月14日	オリジナル曲作成④と伴奏編成			
14	6月16日	オリジナル曲作成⑤と伴奏編成			
15	6月21日	オリジナル曲作成⑥と伴奏編成			
16	6月23日	オリジナル曲作成⑦と伴奏編成			
17	7月5日	オリジナル曲作成⑧と伴奏編成			
18	7月7日	オリジナル曲作成⑨と伴奏編成			
19	7月12日	オリジナル曲作成⑩と伴奏編成			
20	7月14日	オリジナル曲作成⑪と伴奏編成			
21	7月19日	オリジナル曲作成⑫と伴奏編成			
22	7月21日	オリジナル曲作成⑬と伴奏編成			
23	8月23日	オリジナル曲作成⑭と伴奏編成			
24	8月25日	オリジナル曲作成⑮と伴奏編成			
25	8月30日	オリジナル曲作成⑯と伴奏編成			
26	9月1日	オリジナル曲作成⑰と伴奏編成			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法: B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	65時間中 22時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	リズム		担当講師	神田直樹	
講師実務経験	ドラマー、パーカッショニスト				
対象学年	1 学年	対象コース	ミュージシャンコース各専攻		授業形態 講義
期 間	前期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	音符や休符、リズムの仕組みを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月19日	拍と小節、4分と8分それぞれの音符と休符を修得する			
2	5月10日	16分音符、休符と構成音(4音構成、3音構成)の修得する			
3	5月17日	16分音符、休符と構成音(2音構成、1音構成)の修得する			
4	5月24日	8分3連符と構成音(3音、2音、1音構成)を修得する			
5	5月31日	8分音符のクリック移動を修得する			
6	6月7日	タイとスラー、シンコペーションを修得する			
7	6月14日	リズムを構成する音の要素を修得する			
8	6月21日	アクセントとバックビートの知識を修得する			
9	7月5日	フィールとビートの知識を修得する			
10	7月12日	実技試験対策			
11	7月19日	実技試験・筆記試験対策			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	33時間中 12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作詞				担当講師	杉本直香	
講師実務経験	シンガーソングライター						
対象学年	1	学年	対象コース	ヴォーカルコース、ギターコース、ベースコース、ドラムコース、作曲・DTMコース		授業形態	講義
期間	前期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間		135 分
修得目標	作詞の基礎を修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月20日	詩の大切さを理解する					
2	5月11日	曲の分析					
3	5月18日	分析結果から新たに作詞					
4	5月25日	ら抜き言葉					
5	6月1日	作詞で使える色の表現について(1)					
6	6月8日	作詞で使える色の表現について(2)					
7	6月15日	作詞で使える天気や景色の表現について(1)					
8	6月22日	作詞で使える天気や景色の表現について(2)					
9	7月6日	曲・歌詞から詩的表現を集める					
10	7月13日	叙事詩・叙情詩・叙景詩(1)					
11	7月20日	叙事詩・叙情詩・叙景詩(2)					
12	8月24日	当用漢字・常用漢字					
13	8月31日	比喩(直喩・隠喩)					
14							
15							
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況) 成績評価方法:B						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	キーボード実習		担当講師	水口陽子	
講師実務経験	ピアノ講師				
対象学年	1 学年	対象コース	ヴォーカルコース、ギターコース、ベースコース、ドラムコース、作曲・DTMコース		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	DTMや作曲、編曲をする際にキーボード活用できるよう、伴盤上でのリズムやコードの理解を目指し、基礎トレーニングを含めコードワークや奏法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月20日	授業概要及び基本トレーニング方法とスケールの運指について			
2	5月11日	基本トレーニング スケール練習 トライアドの習得			
3	5月18日	基本トレーニング トライアド+6th,7th,M7thの習得			
4	5月25日	基本トレーニング アルペジオ			
5	6月1日	基本トレーニング コード転回			
6	6月8日	基本トレーニング コードワーク(4、8、16beatの弾きわけ)			
7	6月15日	基本トレーニング コードワーク(スムーズなコードチェンジ)試験曲			
8	6月22日	基本トレーニング 4beatフレーズ(シャッフル記号における)試験曲			
9	7月6日	基本トレーニング パラディロル 試験曲			
10	7月13日	基本トレーニング キーボードアンサンブル			
11	7月20日	基本トレーニング 実技試験			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	33時間中 12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 DTM実習		担当講師	作山 厚	
講師実務経験	DTM・ベース講師経験 / 楽曲配信・BGMサイト楽曲提供				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
前期	基本的な打ち込み技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	サンプルファイルを活用したビート制作			
2	5月26日 6月2日 6月9日	ピアノパートとベースの打ち込み			
3	6月16日 6月23日	シンセサイザーVを使用した歌メロ入力			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PA実習(選択)		担当講師	久本 晃三	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	共通		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
前期	PAという仕事を理解し、マイクケーブル、マイクスタンドの基本的な取り扱いを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	オリエンテーション、ケーブル巻き			
2	5月26日 6月2日 6月9日	PAセクションの仕事の概要説明、ケーブル巻き、マイク、マイクスタンドの取り扱い			
3	6月16日 6月23日	PAセットを組んで音を出してみる。			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 REC実習		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	レコーディング業界とレコーディングエンジニアという職業を理解し修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	スタジオワークを理解し、レコーディングエンジニアの職種を理解する。			
2	5月26日 6月2日 6月9日	ブース内(ドラム・ベース・ギター)にマイクセッティングをし録音作業を行う。			
3	6月16日 6月23日	デモ音源を使いトラックダウンを行う。			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 ヴォーカル実習	担当講師	吉田佳代
講師実務経験	シンガーソングライター		
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回
			1回あたりの授業時間
			135 分
期	修 得 目 標		
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	4月21日 5月12日 5月19日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ミックスボイス)	
2	5月26日 6月2日 6月9日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ビブラート)	
3	6月16日 6月23日	発声法基礎(高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴)	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価		
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)		
テキスト			
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	選択 ギター実習	担当講師	川畑統正
講師実務経験	ギタリスト / ヤマハ認定講師		
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回
			1回あたりの授業時間
修 得 目 標	ギター演奏の基本技術と知識の修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	4月21日 5月12日 5月19日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズ	
2	5月26日 6月2日 6月9日	オープンコード、コードの応用、シンプルな課題曲	
3	6月16日 6月23日	ブルースフォームでの様々な演奏スタイル	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価		
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)		
テキスト			
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	選択 テレビ番組制作	担当講師	田端 優一
講師実務経験	放送局関連会社勤務		
対象学年	1 学年	対象コース	各コース
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回
			1回あたりの授業時間
修 得 目 標	番組制作の流れとスタッフの役割を理解し、基礎的知識と技術を修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス～番組制作の現場について	
2	5月26日 6月2日 6月9日	テレビスタジオ、副調整室の仕組みや機材全般の取り扱い方について	
3	6月16日 6月23日	テレビスタジオで番組の収録を行う	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価		
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)		
テキスト	資料配布		
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	選択 ドラム実習		担当講師	岸林大輔	
講師実務経験	演奏家、ヤマハ、三響、ミツノ講師				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	Dr.Set、リズムの基本を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	Stick Control&Foot リズムスタイル			
2	5月26日 6月2日 6月9日	リズムスタイル#2、Fill-In			
3	6月16日 6月23日	リズムスタイル#2、Fill-In、エチュード演奏、まとめ			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 ベース実習		担当講師	木村圭子	
講師実務経験	ベークシト				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ミックスボイス)			
2	5月26日 6月2日 6月9日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ビブラート)			
3	6月16日 6月23日	発声法基礎(高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴)			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	照明実習(選択)		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	共通		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
前期	『照明』とは、どのような仕事かを知り、自分が目指す職種と他の職種との関わりを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス。照明という仕事について。音楽と照明について			
2	5月26日 6月2日 6月9日	仕込みからシュートまでについて			
3	6月16日 6月23日	光の演出効果について			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	文書デザイン(1期)		担当講師	熊谷めぐみ	
講師実務経験	ライター				
対象学年	1 学年	対象コース	選択		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	Word,Excelを中心に PCの初歩的な基本操作を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス PC操作・タイピングの基礎・Wordの基本的な操作			
2	5月26日 6月2日 6月9日	Wordにて、ビジネス文書の形式、文字修飾、表・図形の挿入と編集を学ぶ			
3	6月16日 6月23日	Excelにて、資料の作成や初歩的な関数等について学ぶ			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				